

【茅ヶ崎市】

1人1台端末の利活用に係る計画

1. 1人1台端末を始めとするICT環境によって実現を目指す学びの姿

GIGAスクール構想による1人1台端末の整備は、文部科学省が示した「個別最適な学び」と「協働的な学び」の具体化を図るものである。具体的には、児童や生徒の学習進度や興味関心、学習スタイルに合わせた最適な教材の提供やより有効な学習の補助を行うことで、一人一人の学習を最大限にサポートすることが可能となると考える。また、グループワークやディスカッションなど、児童や生徒が協力して学ぶことで、より深い理解へとつながる。さらに、遠隔地にいる他者とも共同で学習できることなど、学びの幅を大きく広げることができるものである。

2. GIGA第1期の総括

GIGA第1期においては、すべての子どもたちの可能性を引き出す個別最適な学びと協働的な学びを実現するため、全児童・生徒に端末が整備され、本市の学習環境は大きな変貌を遂げた。児童や生徒は、日常的に端末に触れることで、ICT機器を身近な学習ツールとして活用する機会が増え、新しい学びのスタイルを習得した。

一方で、端末の故障率の高さや、教科や学年により端末の活用状況に差が見られるなど、端末の利活用において様々な課題も浮き彫りになった。

そのため、堅牢な端末の整備や教職員に対する多角的なサポートの実施など、これらの課題を適切に対処し、現在の1人1台端末の環境を引き続き維持した上でGIGAスクール構想のさらなる推進を目指す必要がある。

3. 1人1台端末の利活用方策

- ・児童や生徒の学習状況をリアルタイムに把握し、個別指導やフィードバックを行うことで、学習効果の高い教育活動を行う。
- ・セキュリティ対策や情報モラル教育を確実に講じることで、児童や生徒が安全に学び、成長できる学習環境を実現する。
- ・インターネットを活用し、児童や生徒が興味関心あるテーマを深く掘り下げ、自ら課題を見つけ、解決策を探究する教育活動の充実を推進する。
- ・プレゼンテーションツール等を活用し、児童や生徒が主体的に授業に参加できる双方向型の授業を展開する。
- ・支援を要する児童や生徒の実態に応じたサポートを実現するなど、児童や生徒の学びを保障するため、クラウド型のサービスの活用など、学校外においても学習ができる環境を整備する。